



よき思い出 一修学旅行一

GW明けの5月8日(木)・9日(金)に京都・奈良方面へ6年生が修学旅行に出かけました。出発式では、「事前に調べたこと確かめとともに新しい発見をしてほしい。また、多くの人との出会いを通して、人との対応の仕方を実際の場面で勉強してほしい」という話をしました。

最初の見学地は「金閣」。多くの修学旅行生や観光客で賑わっていました。「金閣の屋根の上についている鳳凰の足は何本？」という課題が出ていましたので、いろいろな角度から屋根を観察する姿が見られました。昼食後、班ごとにシルバーガイドさんの案内で京都市内の分散見学に出かけました。事前学習の検証です。竜安寺・仁和寺方面へ行く班に同行し、バスに乗りました。案内役のシルバーガイドさんの一人が津島市の天王川のことを話しておられました。興味深い説明を聞きながら予定のコースを巡り、全班が予定通りにホテル「りょうぜん」に到着することができました。シルバーガイドさんからは、「よく歩きました。大変よい子たちばかりでした」とお誉めの言葉をいただきました。



【金閣「鳳凰の足は・・・」】

夕食時に「いただきます」等のあいさつに名乗りを上げる姿(翌日の食事でも同様)、先生以外の方からのいろいろな説明の後の「わかりましたか」という確認の言葉に「はい」と返事をする姿などが見られました。いずれも習慣となっているようで、これまでの積み上げの成果だと感じました。



【座禅体験「無念無想？」】

夕食後は座禅体験。夕食時の元気とは対照的な静けさの中で、高台寺のお坊さんによる指導を受けました。座禅は次の3段階で行うことを学びました。

- ①「調身」(身や姿勢を整える)
- ②「調息」(呼吸を整える)
- ③「調心」(心を整える)

廊下を歩き、各部屋の入り口を見ると、各部屋スリッパがきちんとそろっていました。それは翌朝も変わることはありませんでした。(このことは帰着後の解散式でほめました。)

2日目はあわただしい朝の日程。7:30にホテルを出発して清水寺へ向かいました。(徒歩10分程度)仁王門前で写真撮影後、説明を受けながら、清水の舞台、奥の院、音羽の滝へと進みましたが、音羽の滝で「渋滞」。早朝に清水寺に向かう意味が理解できました。東大寺は、小中学生・高校生の修学旅行や遠足、外国からの旅行者等がいっぱい。「鹿と遊ぶ」と言って鹿せんべいを買って食べさせようとするのですが、かみつかれそうでせんべいから手を離してしまう姿があちこちで見られました。法隆寺では、玉虫厨子のどこに玉虫が使われているかを知りました。(厨子の外枠を固定する金属の下に玉虫の羽を敷き虹色の輝きを出しました。)1400年の時を経て羽はなくなってしまっていますが、子どもたちは玉虫を知っているだけに感動した表情とともに「どれだけの玉虫を捕まえたのだろう」という素朴な疑問の声も聞こえてきました。



【音羽の滝「どの水に・・・」】

余談(1号車のバスガイドさんから学んだこと)

・京都は寺が多く、その数約2700。愛知県はそれより多く、約3800。違いは京都は本山が多く、寺としての格式のちがいがあ。堀の5本線が目印です。

3年生、4年生校外学習

3年生は、8日(木)に「まち探検」に出かけました。総合学習「人にやさしい町づくり」、社会科「わたしたちの町のようす」の学習の一環として行いました。事前に各クラスで学校の屋上に上り、気になった建物や、屋上から見えなかった土地の使われ方を実際に見に行くことで、地域の様子の理解を深めるきっかけとなりました。今後、授業で話し合っ、みんなにわかりやすい地図を完成させていきます。



【まち探検に出発・・・】

4年生は、13日(火)に五条川清掃工場の見学に出かけました。快晴の天気の下、がんばって見学地の往復をしました。清掃工場で扱われるゴミの量に驚くとともに、自分たちの生活とのつながりを考え、ゴミについての考えを深めるきっかけとなったようです。今後ゴミを減らすためにできることを考え、できることを実践する予定です。



【今まで知らなかった・・・】

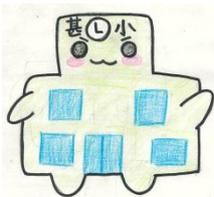
6年生、3年生、4年生いずれも校外で、文化財や施設等の見学とともに、公衆マナーについても学習するよい機会でした。一つの活動を通していろいろな学習をして、学んだことを今後の生活の中で実践する点では共通しています。これこそESDです。

朝読書



【今日のお話は・・・】

学期に何回か火曜日には、図書ボランティアのみなさんによる読み聞かせが行われています。初めはざわついていても、やがて話に吸い込まれていくように聞き入っている姿がどの教室でも見られます。本の良さ、読み聞かせの良さを感じるひとときであり、「時代は変われど変わらない良さ」の一つです。興味深い新聞記事がありましたので紹介します。



甚小キャラクター
「じんちゃん」



もちろん、ICTのことができて、新しい発見を生むことが少なくはない。しかし、その分、「無駄」に調べることがなくなっている。調べたい言葉をネットで検索すれば、わずかに間に、あなたの情報を得ることができ

この間に、あなたの情報を得ることができ

調べる。活字の代表である新聞も、今はその危機にあるとい

報にたどりついてい

た。しかし、一見、無駄に思えるこの時間の間に、いくつもの枝葉に分かれた情報を得る

間の中にある。活字の代表である新聞も、今はその危機にあるとい

報にたどりついてい

た。しかし、一見、無駄に思えるこの時間の間に、いくつもの枝葉に分かれた情報を得る

調べる。活字の代表である新聞も、今はその危機にあるとい

報にたどりついてい

た。しかし、一見、無駄に思えるこの時間の間に、いくつもの枝葉に分かれた情報を得る

活字とICT

鳥取県米子市立
淀江中学校教諭

山下 欣浩

先日、保育園との連絡の中で、驚かされる話を聞いた。

最近、落ち着きのない園児が増えてきたのを心配に思い、保護者に聞き取りを行ったのだが、読み聞かせをしていない家庭がかなりの数にのぼっている。子育ては、テレビがしてくれるもの。信じられない話だが、果ては、園児がスマホで遊ぶ、という始末なのだろう。

調べる。活字の代表である新聞も、今はその危機にあるとい

報にたどりついてい

た。しかし、一見、無駄に思えるこの時間の間に、いくつもの枝葉に分かれた情報を得る

調べる。活字の代表である新聞も、今はその危機にあるとい

報にたどりついてい

た。しかし、一見、無駄に思えるこの時間の間に、いくつもの枝葉に分かれた情報を得る

調べる。活字の代表である新聞も、今はその危機にあるとい

報にたどりついてい

た。しかし、一見、無駄に思えるこの時間の間に、いくつもの枝葉に分かれた情報を得る